



ふるさとの祭りを
盛り上げたい

須賀川市ふれあいセンター内にあ
る練習会場の扉を開けると、会場は
地の底から沸き起こるような力強い
太鼓の音と、練習に取り組む子ども
たちの熱気に包まれていました。太
鼓は長胴太鼓、桶胴太鼓、附締太鼓
など大小様々。一つひとつの音に魂
を込め、放たれたそれぞれの音が絡
み合い、一つになり、聴くものの心
を揺さぶります。真つ直ぐに前を見
据える子どもたちの眼差しと、熱心
に指導する保存会メンバー。妥協の
ない姿に、見ている側も思わず姿勢
を正さねばならない思いにかられま
した。



須賀川第二中学校 3年
小山 純晴 くん

人数が多いので、みんなを音
を合わせるのが難しいです。
今年新しい曲「火の花」が
できたので、練習して、どん
どん完成度を高めていきたく
いと思っています。

松明あかし四百年を迎えた平成元
年、祭りを盛り上げようと市民提案
から生まれ、ふるさと創生事業とし
て始まった奥州須賀川松明太鼓。他
県より指導者を招き演奏技術を磨
き、また小学生以下の「小若組」を
指導するなど担い手の育成にも力を入
れてきました。現在保存会員9名、
打ち手会員26名、小学生
46名、中学生から高



巻頭特集

魂の音 —松明の炎にのせて—

松明太鼓保存会

日本三大火祭りのひとつ「松明あかし」。
夜空を焦がす炎とともに鳴り響く松明太鼓の音。
心を揺さぶる音が、四百数十年の歴史に
華を添えます。



校生39名が所属しています。取材に
訪れたとき演奏していたのは中学生
から高校生の皆さん。若い力がしつ
かりと育っているのが感じられまし
た。子どもたちを支え、指導してい
る打頭(うちがしら)の祓川千寿(は
らいかわ・ちとし)さんは「子ども



たちがひたむきに打ち込む姿に成長
を感じる」と話し、「不易流行。経
験を重んじながら新しいことにも
チャレンジしたい」と続けます。昨
年まで松明あかしで演奏してきた
「青嵐(せいらん)」に加え、今年は
新曲「火の花」が演奏されます。

私たちは松明あかしと
いう祭りを、音で盛り
立てたい。今後は指導
者の育成にも力を入れ
ていきたいですね。



子どもたちを指導する
祓川千寿さん・関根美弥子さん



福田中学校 3年
渡邊 マナカ さん

松明あかしの舞台を観てやり
たいと思います。小学6年生から続
けています。辛いこともありま
すが、それ以上に楽しいです。
たくさん公演があるので、体
力をつけていきたいです。

松明あかしの舞台に向けて
松明太鼓に所属する中高生は、子ど
もの祭典で演奏を披露するほか、日本
太鼓ジュニアコンクール福島県支部大
会、ふくしまジュニア太鼓フェスティ
バルなどに出演。十一月十二日の松明
あかしの舞台では、姫松明と本松明の
炎を背に、勇壮な太鼓の響きを打ち鳴
らします。新曲「火の花」を加えた、
新しい挑戦のスタートです。

須賀川松明あかし

【日時】
平成28年11月12日(土)
午後1時45分 本松明行列出発
午後4時 キャンドルナイト点灯
午後6時30分 大松明点火
【会場】
松明通り、翠ヶ丘公園内
【お問い合わせ】
松明あかし実行委員会事務局
TEL 0248-88-9144

詳しいスケジュールは
須賀川市公式サイト参照 <http://www.city.sukagawa.fukushima.jp/2725.htm>